Reis) aus der Gruppe der Chlorococcales. Ber. Schweiz Bot. Ges. **65**: 511-518. Zeitler, I. (1954). Untersuchungen über die Morphologie, Entwicklungsgeschichte und Systematik von Flechtengonidien. Österr. Bot. Zeit. **101**: 453-487.

* * * *

日本各地の土壌から分離したクロレラ属の藻株34を主として Fott & Nováková (1969) の分類系に基づいて研究した結果，9種2変種（うち1種は新種）を同定した。そのうちの5種2変種は既に第1報と第2報に記述した。本報告では *Chlorella zofingiensis*, *C. protothecoides*, *C. minutissima* 及び *C. reniformis* の4種を記載した。最後に挙げた種類は今回新種として記載したものである。

本論文ではピレノイドの有無にかかわらずすべての種をクロレラ属に所属させたが，ピレノイドの有無を生物学的に検討することにより，ピレノイドを欠く数種のパルメロコックス属への移行の可能性についても論じた。

□寺崎留吉図・奥山春季編： **寺崎日本植物図譜** 四六倍版 1083+41+38 pp. 平凡社，東京 (1977, V.) 8,000円。Terasaki's Illustrated flora of Japan, Heibonsha, Tokyo。日本植物を主とし，これに帰化植物，栽培植物を加え，さらに南方で普通の重要植物を加えて網羅した図譜がいよいよ出版された。さきに1933年及び1938年の2回にわたって出版された4,000図に，未発表の1,000図を加えた中から選び直して，これに300種を加えて4,317種を一挙に掲げた図譜である。原図は寺崎さん一人が50年に亘って，現地を主にして実物を前にして毛筆で描き上げたものであるから，まことに生彩を放っている．対面の2ページに主に7または8図づつを配して，その余白にそれの解説を新たに作り，必らずそのページで納まるように工風がしてあるのもよい。順序は主にエングラーのシステムに従っている．非常に筆の早やかった寺崎氏の筆のなるだけに，どのページを開いても溌溂としたその植物の姿態が目にとび込んで来て，気持がよいのも嬉しい。スミレ (53)，サクラ (37)，タケ (35)，ヤシ科 (29)，カンアオイ (13) という風に数多くの植物があげられ，一々適切な図と解説がなされている。花と果実とでひどく違うものは花，実2つの図を挙げ，ソテツやソヨゴは雌雄で2図にもなっている。

恐らく今後このような一人の人の腕になる図をもとにした図鑑は，もう出版されないと考えると，この改版増補はたしかに意義があったと思われる。それにトウテイランやセンブリなどには他の図書と異る新しい学名が使われているのも注意を要する。

（前川文夫）